

# 豊田市 PCB 処理 安全監視委員会だより

平成 29 年 9 月  
第 38 号

豊田市では、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境の保全のため、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

今回は、平成 29 年度 1 回目の安全監視委員会の内容についてお知らせします。

## 平成 29 年度第 1 回豊田市 PCB 処理安全監視委員会

平成 29 年 7 月 28 日、JESCO 豊田 PCB 処理事業所において、平成 29 年度 1 回目の安全監視委員会を開催しました。会議には監視委員 11 名、オブザーバーとして、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、豊田市消防本部、豊田労働基準監督署、その他に環境省廃棄物規制課、JESCO が出席しました。

### ○ 議 題

- 1 豊田 PCB 廃棄物処理施設の操業状況報告について
- 2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について
- 3 豊田市 PCB 廃棄物処理計画変更案について
- 4 PCB 廃棄物早期処理促進に向けた国の取組について

排出源及び周辺環境モニタリング結果は、いずれも管理目標値、環境基準値等を下回っていました。

### (4) 中長期保全計画の取組状況

処理期限の延長に伴い、通常の定期点検の他に、中長期保全計画を作成し、点検・整備を行っています。中長期保全計画に伴う平成 28 年度の主な対応として、排気のオンラインモニタリング装置の更新や冷却塔の大規模な改修工事を実施しました。

### (5) 手動ダイヤフラム弁からの漏洩についての拡大調査結果及び防止対策

1 月に発生した第一蒸留塔還流液の手動ダイヤフラム弁からの漏洩について、水平展開として他の弁への拡大調査を行いました。

事業所内にある対象の手動ダイヤフラム弁 1,327 個について、それらを流れる液体の温度及び PCB 濃度等で分類し、滲み等の有無を調査した結果、流れる液体が 80℃以上かつ常時開のダイヤフラム弁で最も影響を受けることが確認されました。

このため、今後は、80℃以上の常時開の手動ダイヤフラム弁を対象に、定期的な監視を実施していきます。

## 1 豊田 PCB 廃棄物処理施設の操業状況報告について

JESCO から、以下の報告がありました。

### (1) PCB 廃棄物処理実績（3月末時点）

	トランス (台)	コンデンサ類 (台)	PCB 量 (トン)
H28.4~ H29.3	102	7,320	165.9
累計処理量	2,011	51,822	1,897.0

### (2) 東海 4 県の処理進捗率（3月末時点）

	豊田市	愛知県	岐阜県	静岡県	三重県
処理済 事業場 (%)	97.6	92.1	88.5	92.0	93.4

### (3) 周辺環境への影響の状況

平成 28 年度及び平成 29 年 4 月に実施した

## (6) ポリ塩化ナフタレン (PCN) 入りトランス油の処理について

平成 28 年度に豊田 PCB 処理事業所に搬入された整流器のトランス油の中に、同年 4 月に新たに第一種特定化学物質に追加指定された PCN が含まれていたため、整流器から抜油した PCB 油約 120ℓ の場内での保管が続いております。今後、豊田 PCB 処理事業所での PCN を含む PCB 油について、環境省・有識者等の指導・助言を得て、処理方法を検討していきます。

## 2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

市は、以下の報告を行いました。

### (1) 豊田 PCB 処理施設への立入実施状況

前回の安全監視委員会以降、JESCO 豊田 PCB 処理事業所に計 7 回立入検査を実施し、排出ガス測定や受入作業の確認などを行いました。

### (2) 平成 28 年度 PCB 環境モニタリング調査について

PCB 処理施設の稼働に伴う環境への影響を把握するため、平成 14 年度から継続して PCB 環境調査を実施しています。

平成 29 年 1 月に実施した逢妻男川雲目橋の水質調査において、平成 14 年から実施している環境省実施の全国調査の範囲内かつ環境基準と比較しても極めて低い数値であるものの、過去調査結果を超過する PCB の値が検出されました。

採水当時の JESCO の操業状況やモニタリング調査結果の確認及び、逢妻男川流域で PCB 使用機器を所有、保管している事業所へ立入調査を行いました。異常はなく、原因は不明でした。

原因究明のため、今夏に実施する逢妻男川の河川水質の調査地点をさらに増やし、詳細な調査を行います。

## 3 豊田市 PCB 廃棄物処理計画変更案について

市は、平成 28 年に改正された PCB 廃棄物特別措置法や国の PCB 処理基本計画の変更を踏まえ、今後変更が必要な豊田市 PCB 廃棄物処理計画について説明しました。

## 4 PCB 廃棄物早期処理促進に向けた国の取組について

国から、PCB 廃棄物の早期処理促進に向けた国の

取組について説明がありました。

国による PCB 廃棄物早期処理のための周知・広報の取組、環境省地方環境事務所における PCB 担当の体制強化、平成 29 年度 PCB 関連予算の概要等について説明がありました。

### 【委員からの主な質問・意見】

**質問 (委員)** PCN の処理について、大阪 PCB 処理事業所で処理実績があるのであれば、無理に豊田 PCB 処理事業所で処理せず、大阪 PCB 処理事業所で処理することはできないのか。

**回答 (JESCO)** 豊田事業エリアの廃棄物は豊田 PCB 処理事業所で処理することが原則である。

**意見 (委員)** PCN の処理について、高沸点のものが処理プロセスに混入した場合、少量であってもプロセス内をずっと循環する可能性があるため、しっかり検討すること。

**質問 (委員)** 逢妻男川の水質調査で、PCB が過去調査結果よりも高い数値であったが、水質の再調査は行わなかったのか。

**回答 (市)** 河川が濁っていたためできなかった。この夏に詳細調査を行い、状況の確認をする。

**意見 (委員)** 各自治体で行っている掘り起こし調査について、具体的な数値を示してもらわないと、状況がよく分からない。

**意見 (委員)** 国が実施している周知や広報の活動について、環境省から事業者向けに直接通知を出すことで事業者は重く受け止めると思う。



◆ 豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局  
豊田市 環境部 廃棄物対策課  
電話 0565-34-6710  
ファックス 0565-34-6976  
e-mail [haitai@city.toyota.aichi.jp](mailto:haitai@city.toyota.aichi.jp)